

政策体系	政策No.	3	政策名	活力ある産業のまちづくり			施策主管課	商工振興課	
	施策No.	3	施策名	観光業の振興	重点施策	○	施策主管課長名	池田 洋一	
施策関係課名		観光課、商工振興課							
1 基本計画期間(平成20年度～平成24年度)における施策の方針 地域の特徴を活かした観光資源の開発を行うとともに、魅力ある霧島市について地域が一体となった宣伝活動を展開し、国内外への情報発信に努める。また、今後増加が見込まれる観光客の満足度を高めるために、観光業従事者の「おもてなし」意識の向上に努める。									
2 施策の目的と成果把握									
① 対象 (この施策は、誰、何を対象としているのか)		観光業者・従事者							
② 対象指標 (対象の大きさを表す指標)		単位	区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
A	観光業事業所数 ※観光協会に加入している事業所数	事業所	見込み値	458	458	458	250	280	300
			実績値	421	361	240	249		
B			見込み値						
			実績値						
C			見込み値						
			実績値						
③ 意図 (この施策によって対象をどう変えるのか)		経済的に豊かになる							
④ 成果指標 (意図の達成度を表す指標)		◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%～105%未満) △目標を未達成(95%未満)							
		単位	区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度
A	観光客数(宿泊+日帰り)	人	成り行き値	6,502,000	6,899,000	7,369,000	7,369,000	7,986,000	7,986,000
			目標値	7,000,000	7,500,000	8,300,000	8,900,000	9,500,000	10,000,000
			実績値	7,455,000	7,713,000	7,562,667	7,503,403		
			達成率	107%	103%	91%	84%		
			結果	◎	○	△	△		
B	観光客数(宿泊+日帰り)×観光客1人当りの消費額	百万円	成り行き値	54,004	55,231	60,783	60,783	64,030	64,030
			目標値	57,516	61,132	64,749	68,275	72,982	75,841
			実績値	57,166	58,880	56,072	48,014		
			達成率	99%	96%	87%	70%		
			結果	○	○	△	△		
C			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
			達成率						
			結果						
D			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
			達成率						
			結果						
E			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
			達成率						
			結果						
⑤ 成果指標の測定方法 (実際にどのように実績を把握するか)		⑥ 平成24年度の目標値設定の考え方							
・A…観光客数(宿泊+日帰り) ※年度ではなく年(1～12月)での実績把握 ・B…観光客数(宿泊+日帰り)×観光客一人あたりの消費額 ※観光客数:鹿児島神宮、温泉センター、登山客、海水浴客などの観光施設の利用者数、ホテル、旅館の宿泊者数はホテル、旅館、観光施設からの市取得データ ※観光客1人あたりの消費額:県の推計データ(県外26,000円、県内13,000円、日帰り県外7,000円、県内3,000円)		A 「観光客数(宿泊+日帰り)」及び「観光客数(宿泊+日帰り)×観光客一人当たりの消費額」については、平成23年の九州新幹線全線開通等を視野に入れた観光客誘致活動により、観光客数の329万6,000人増加及び観光客数×観光客一人当たりの消費額を205億6,700万円増加させ、目標値の達成を目指す。 B							

3 基本計画期間で解決すべき施策の課題(総合計画書より)

- 観光地としての本市の知名度を向上させる必要がある。
- 地域の観光資源を発掘し、観光客誘致につながるような滞在型観光商品を企画・開発する必要がある。
- 霧島温泉地区については施設整備や健康メニューの検討などを協議し、森林セラピー基地としての事業展開を確立する必要がある。
- 平成21年4月に観光協会の統一が図られたので、観光従事者の観光協会加入を促進し、一体となった宣伝活動を行っていく必要がある。
- 訪れた人が滞在をより楽しむために、観光案内板や観光パンフレットを作成するほか、地域住民と一体となった体験型観光の仕掛けづくり等、受け入れ体制の質の向上を図る必要がある。
- 海外観光客誘致を推進するため、外国語の観光案内板の設置やパンフレット、マップを整備する。
- 奥天降溪流基本計画(平成21年度作成)に沿った整備の検討が必要である。

4 施策の特性・状況変化・住民意見等

① この施策の役割分担をどう考えるか(協働による市民と行政の役割分担)

ア) 行政の役割 (市がやるべきこと、県がやるべきこと、国がやるべきこと)	イ) 市民(住民、事業所、地域、団体等)の役割
<p>■国・県・市</p> <ul style="list-style-type: none"> 市に観光客を誘致するための宣伝を行う。 観光関連従事者の育成や資質向上の為に接遇研修。 リアルタイムな観光情報の発信。 各種観光情報誌の作成。 県内外、海外からの観光客誘致活動。 観光施設(例:トイレ、案内板)の整備を図る。 観光客を受け入れる体制を整備する。(交通など) 	<p>■観光業者(自助)</p> <ul style="list-style-type: none"> 自らの資質向上を図ること。 観光客を暖かく迎える。 環境美化活動を推進(花いっぱい運動など)する。 市に観光客を誘致するための宣伝を行なう。 自らの経営努力を行い生き残りを図る。 <p>■観光協会(自助)</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光業者全体の資質向上を図る。 市に観光客を誘致するための宣伝を行なう。 <p>■市民(協働)</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光客をあたたかく迎える。 環境美化活動を推進する。 自ら自分達の地域を知る。

② 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどのように変化しているか、更に今後どう変化するか?

- 最近の経済低迷から、安くて近い旅行形態が増えつつある。
- 今後ますます小グループ化、個人志向の旅行が増えつつある。
- 観光形態が物見から体験型に移行していく。
- 韓国、中国、台湾からの観光客については、景気の回復及び新型コロナウイルスによる観光客減少の反動から増加傾向にある。
- 平成23年3月の九州新幹線全線開通に伴い、様々な観光宣伝イベント等を開催し、観光客の入込み増が見込まれる。
- 湧水町とて組織している霧島高原ツーリズム協議会では、修学旅行生の受け入れも増加し(21年度1校・22年度4校)、自然体験型の旅行が望まれることから、更なる利用客増が期待できる。
- 平成22年度については、隣県で発生した口蹄疫の影響により、上半期、観光客が減少したが、大河ドラマ『龍馬伝』の放映、利用客増加のための「いざ霧島100万人キャンペーン」の実施などにより年末には前年並みに回復した。しかし、1月26日の新燃岳噴火により、風評被害などから観光客が激減している。あわせて東日本大震災の影響により観光客全体の出足が鈍くなり、今後様々な観光PR対策、防災対策などによる誘客促進策が必要となる。

③ この施策に対して市民(対象者、納税者、関係者等)、議会からどのような意見や要望が寄せられているか?

- 類似しているイベントを統合し、霧島市としての特色づくりと情報発信(PR)をすべきである。
- 観光部門と経済部門(ツーリズム)、環境部門(環境美化条例)の連携をさらに図ってほしい。
- 市にある豊富な観光資源をさらに活用して観光客誘致を図るべきである。
- 国際線活用によって中国、韓国からの観光客を誘致すべきである。
- 通過型の観光客ではなく滞在型(宿泊)の観光客の増大を図るべきである。

5 施策の現状

① 平成22年度施策の取組方針

- 本市の知名度を向上させるために、塩浸温泉龍馬公園の更なる整備や、大河ドラマ「龍馬伝」を活用した観光宣伝を行う。
- 市・観光協会等が一体となった誘致宣伝活動を行う。
- 奥天降溪流域基本計画を活用し、観光地整備に向けた具体的な検討を行う。
- 平成23年春九州新幹線全線開業に伴い、JR九州や旅行エージェントとタイアップした観光商品の開発を図る。
- 海外観光客誘致を推進するため、外国語の観光案内板の設置、パンフレット作成に向けた検討を行う。
- 口蹄疫による観光客減少への対策、新燃岳噴火による観光客減少への対

② 平成22年度施策の取組方針の達成状況

- 国内主要都市において、百貨店や街頭での宣伝活動を行った。
- 観光施設の整備を行った。(塩浸温泉龍馬公園等)
- 定期的なHPの更新及び旅行エージェント向けの季刊紙の発行を行った。
- 受け入れ体制の充実を図るために、観光協会員と市の職員が、接遇研修に参加した。
- 鹿児島県や鹿児島県観光連盟と連携し、海外旅行エージェントとの商談会へ参加した。
- 市内宿泊施設のインバウンドへの対応状況等の調査を行った。
- 海外観光客誘致、海外からのスポーツ団体誘致のためのパンフレット作製費について平成23年度予算措置を行った。

③ 平成22年度施策の目標値と実績値の比較

目標達成 ○ 105%以上
目標をほぼ達成 ◯ 95%~105%未満
目標を未達成 △ 95%未満

平成22年度成果指標				結果
	目標値	実績値	達成率	
A	8,900,000	7,503,403	84.0%	△
B	68,275	48,014	70.0%	△

④ 平成22年度施策の成果指標の達成状況

A.観光客数(宿泊+日帰り)については、実績値は平成21年度と比べて約6万人減少し、平成22年度の目標値を約14万人達成できなかった。

B.観光客数(宿泊+日帰り)×観光客1人当りの消費額については、推計によると実績値は平成21年度と比べて8,058百万円減少し、目標値を20,261百万円下回った。その要因としては、口蹄疫や新燃岳噴火の影響を受けているものと思われる。

⑤ 基本事業の目標達成度(平成22年度目標と実績との比較)

	○=すべての目標値を達成	△=一部の目標値を達成	×=すべての目標値を未達成
① 観光誘致宣伝活動の展開	△	○	○
② 地域の特色を活かした観光商品開発の促進	○	△	○
③ 受け入れ体制の充実	△	△	○

7 平成23年度の施策の取組方針 (昨年度マネジメントシートより)

- 観光地としての本市の知名度を向上させるために、主要都市等での観光誘致宣伝活動や地域の観光資源を発掘し、観光客誘致につながるような滞在型観光商品を企画・開発していく。
- 霧島温泉地区の森林セラピー基地としての事業展開を確立するために、施設整備や健康メニューの検討を行う。
- 訪れた人が滞在をより楽しむことができるように、観光案内板や観光パンフレットを作成するほか、地域住民と一体となった体験型観光の仕掛けづくり等、受け入れ体制の質の向上に努める。
- 海外観光客誘致を推進するために、海外での観光誘致宣伝活動や外国語の観光案内板の設置やパンフレット、マップの整備を行う。
- 奥天降溪流域の地域資源を観光資源として有効活用するために、奥天降溪流域基本計画に沿った整備を行う。
- 環霧島観光部会や四地区(霧島市・鹿児島市・指宿市・南九州)と連携しながら広域的な観光誘客に繋がる観光宣伝やその整備を行う。

8 平成24年度に向けた施策の課題・方向性

- 観光地としての本市の知名度を向上させるために、主要都市等での観光誘致宣伝活動や地域の観光資源を発掘し、観光客誘致につながるような滞在型観光商品を企画・開発していく。
- 霧島温泉地区の森林セラピー基地としての事業展開を確立するために、施設整備や健康メニューの検討を行う。
- 訪れた人が滞在をより楽しむことができるように、観光案内板や観光パンフレットを作成するほか、地域住民と一体となった体験型観光の仕掛けづくり等、受け入れ体制の質の向上に努める。
- 海外観光客誘致を推進するために、海外での観光誘致宣伝活動や外国語の観光案内板の設置やパンフレット、マップの整備を行う。
- 奥天降溪流域の地域資源を観光資源として有効活用するために、奥天降溪流域基本計画に沿った整備を行う。
- 環霧島観光部会や四地区(霧島市・鹿児島市・指宿市・南九州)と連携しながら広域的な観光誘客に繋がる観光宣伝やその整備を行う。

基本事業No.	3-3-1	基本事業名	観光誘致宣伝活動の展開	基本事業 主担当課	観光課
---------	-------	-------	-------------	--------------	-----

1 基本事業の目的、取組み方針

①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）
 地元観光協会、県観光課、鹿児島四地区観光連絡協議会等と連携を密にし、国内主要都市における効果的な観光客誘致活動を行う。

②対象	国内旅行者	③意図	霧島市を観光地として認知してもらう
-----	-------	-----	-------------------

2 基本事業の指標等の推移 ◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名	単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度 (目標年)
				A	温泉地知名度ランキング	位	観光経済新聞調査	成り行き値 40 目標値 35 実績値 30 達成率 114% 結果 ◎	40 30 31 97% ○
B				成り行き値 目標値 実績値 達成率 結果					
C				成り行き値 目標値 実績値 達成率 結果					
D				成り行き値 目標値 実績値 達成率 結果					

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

- 温泉地の知名度ランキングの目標値を達成するには、豊富な湯量や泉質PR、温泉とトレッキングなど絡めた企画商品の開発など積極的な取り組みなどを行う。
- 当然観光協会や旅館協会などが一体となった誘致宣伝活動は不可欠である。
- 官民が一体となってインパクトのある誘致活動を実施することで、目標値の達成を目指す。

4 平成22年度基本事業の取組方針 **5 平成22年度基本事業の取組方針の達成状況**

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 観光協会や観光関係団体と連携し、主要な都市で効果的な観光宣伝を継続することによって、観光地としての知名度アップを図る。 映画、テレビなどの撮影支援及び雑誌取材等の協力により霧島市をPRする。 九州新幹線全線開業に伴い、観光地としての知名度アップを図るために、観光協会や観光関係団体と連携し、大阪～鹿児島間の主要な都市で効果的な観光宣伝を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> 国内主要都市において、百貨店や街頭での宣伝活動を行った。 NHK大河ドラマ「龍馬伝」のロケ誘致に成功し、官民共同して撮影協力を行った。あわせてマスコミやメディアに情報提供や取材協力をし、観光霧島の露出度を高めた。 新幹線全線開業に合わせ、県とのタイアップによる福岡方面へのテレビCMや新聞広告の掲載、市観光協会とのタイアップによるアクセスマップの作成を行った。 |
|---|--|

6 平成22年度基本事業の成果指標の達成状況

A.温泉地知名度ランキングについては、実績値は平成21年度と比べて2ランク上がり、平成22年度の目標値に対して3ランク及ばなかった。その要因はR九州等の民間のPRや観光宣伝及び撮影支援雑誌取材等により霧島市をPRしたため2ランク上昇したと思われる。

7 平成23年度基本事業の取組方針 **8 平成24年度に向けた基本事業の課題・方向性**

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 市観光協会、県観光課、鹿児島四地区観光連絡協議会等と連携を密にし、国内主要都市における効果的な観光客誘致活動を行う。 新燃岳噴火による風評被害払しょくのためのPR活動、的確な情報周知。 観光客誘客のための、新規旅行商品造成への支援。 | <ul style="list-style-type: none"> 市観光協会、県観光課、鹿児島四地区観光連絡協議会等と連携を密にし、国内主要都市における効果的な観光客誘致活動を行う。 |
|--|--|

基本事業No.	3-3-2	基本事業名	地域の特色を活かした観光商品開発の促進	基本事業 主担当課	観光課
---------	-------	-------	---------------------	--------------	-----

1 基本事業の目的、取組み方針

①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）	
<p>・滞在体験型志向への変化を好機と捉え、市民、行政、観光協会及び国内旅行エージェントとともに、市内一円に存在する湯量・泉質ともに豊富な温泉郡と広葉樹林を楽しめる散策路を組み合わせた健康指向型商品や、気軽に登山に挑戦できる霧島連山、スポーツ、芸術、文化、歴史を活かした観光商品・ツアーを企画する。</p> <p>・海拔ゼロメートルから標高1,700メートルにわたる市域に点在する景観スポットや史跡などを適切に網羅したコースや、伝統文化行事を気軽に体験することのできるコースなどの制作に努める。</p> <p>・本市の特産品で全国的に知名度の高い関平鉱泉水については、濃縮加工品などの開発や販売拡大などを旨とする。</p> <p>・ジオパークに認定を受けた後、国・内外の旅行エージェント等と連携し地域の特色を活かした旅行商品（ツアー等）の造成に努める。</p>	
②対 象	地域資源
③意 図	観光に活用できる商品が開発される

2 基本事業の指標等の推移 ◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)

①成果指標名		単位	②成果指標の測定方法	③数値区分						
				19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度 (目標年)	
A	観光資源を活かして開発された観光素材	本	観光資源を活かして開発された観光素材の数(累計)	成り行き値	4	4	4	4	4	4
				目標値	5	6	7	8	9	10
				実績値	4	5	9	11		
				達成率	80%	83%	129%	138%		
				結果	△	△	◎	◎		
B				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						
C				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						
D				成り行き値						
				目標値						
				実績値						
				達成率						
				結果						

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠

観光資源(霧島連山、温泉、川、海、食)を活かした観光素材(施設、文化財、特産品、イベント、散策コースなど)を提供し、地域住民やマスコミ機関、旅行エージェントなどと共に観光商品(旅行パック、ツアー等)の造成を推進する。そのために、毎年1つの観光素材を提供することとし、24年度までに10程度の観光素材を開発するとした。

4 平成22年度基本事業の取組方針 **5 平成22年度基本事業の取組方針の達成状況**

<p>・森林セラピーロードを増やしたり、自然体験ツーリズムメニューを拡充するとともに、観光協会、商工団体と一体となった観光素材の開発を促進していく。</p>	<p>・霧島よかとこ博覧会実行委員会(市観光協会事務局)が主催した「ほいで湯 霧 すっ 霧 霧島よかとこ博覧会」の募集型体験メニューに対し協力を行った。</p>
--	--

6 平成22年度基本事業の成果指標の達成状況

A.観光資源を活かした観光商品の数(累積)については、実績値は平成21年度と比べて2本増加し、平成22年度の目標値に対して3本増加した。その要因は、新燃岳噴火により登山できないため募集型体験メニューの充実、新幹線全線開業に合わせて温泉バスの見直しを行った2本増加した。

7 平成23年度基本事業の取組方針 **8 平成24年度に向けた基本事業の課題・方向性**

<p>・観光商品に結びつく観光素材を開発していくために、観光基本計画と奥天降渓流域基本計画に沿った整備を検討していく。</p> <p>・九州新幹線全線開業に伴い増加する観光客の多種多様なニーズに対応するために、国内エージェントと連携し、観光商品ツアー造成に努める。</p>	<p>・観光商品に結びつく観光素材を開発していくために、観光基本計画と奥天降渓流域基本計画に沿った整備を行う。</p> <p>・九州新幹線全線開業に伴い増加する観光客の多種多様なニーズに対応するために、国内エージェントと連携し、観光商品ツアー造成に努める。</p>
--	--

基本事業No.	3-3-3	基本事業名	受け入れ体制の充実	基本事業 主担当課	観光課
---------	-------	-------	-----------	--------------	-----

1 基本事業の目的、取組み方針					
①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）					
<ul style="list-style-type: none"> 観光客に「癒し」を与えるのに不可欠となる「おもてなしの心」を育むため、観光従事者に対する研修会を観光団体と共同で積極的に開催するとともに、地域住民に対し「おもてなし」意識の醸成を働きかける。 観光案内に資する観光ボランティアガイドの育成を図る。 					
②対象	観光業者・観光協会・市民・旅行者	③意図	来訪者をもてなす受け皿ができる		

2 基本事業の指標等の推移		◎目標達成(105%以上)		○目標をほぼ達成(95%~105%未満)		△目標を未達成(95%未満)			
①成果指標名	単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度 (目標年)
A 地域住民(よかとこ案内所・ボランティアガイド含む)のおもてなしを感じた旅行者の割合	%	観光施設等でのアンケート	成り行き値	30.0	30.0	30.0	25.0	25.0	25.0
			目標値	50.0	55.0	60.0	65.0	75.0	80.0
			実績値	未把握	未把握	未把握	未把握		
			達成率						
			結果						
B 観光業者のおもてなしに満足した旅行者の割合	%	観光施設等でのアンケート	成り行き値	30.0	30.0	30.0	25.0	25.0	25.0
			目標値	50.0	55.0	60.0	65.0	75.0	80.0
			実績値	未把握	未把握	95.3	84.1		
			達成率			159%	129%		
			結果			◎	◎		
C もう一度行ってみたい温泉地ランキング	位	じゃらん実施のアンケート	成り行き値	24	24	25	25	26	26
			目標値	24	23	23	22	22	21
			実績値	24	18	19	17		
			達成率	100%	122%	117%	123%		
			結果	○	◎	◎	◎		
D			成り行き値						
			目標値						
			実績値						
			達成率						
			結果						

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠
訪れる人々へのさりげない気配りができる体制づくりや、安心して往来できる交通アクセスの整備、案内板やパンフレットなどの情報源の完備等、観光地にとっては基本的施策の推進が不可欠である。向上した現状水準を維持すると共に今後更に向上させることを目指す。

4 平成22年度基本事業の取組方針	5 平成22年度基本事業の取組方針の達成状況
<ul style="list-style-type: none"> 観光従事者の「おもてなし」等の研修会については、観光協会が自主的に行うので、市は支援をしていく。 観光案内に資する観光ボランティアガイドの育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光協会と連携し、観光従事者に対して「おもてなし」霧島の歴史についての研修会を開催した。(延べ 人参加) 観光ボランティアガイド(しっちょいどん)の研修を市及び県でそれぞれ開催した。

6 平成22年度基本事業の成果指標の達成状況及び要因
<p>A. 地域住民(よかとこ案内所・ボランティアガイド含む)のおもてなしを感じた旅行者の割合については、未把握であったが、観光協会が行う観光動向・観光意識についての調査に平成23年度調査から新たな調査項目に加えた。</p> <p>B. 観光業者のおもてなしに満足した旅行者の割合については、平成21年度は観光協会が行った夏得スタンプラリーのアンケート結果を基に算定した。平成22年度以降は霧島市観光協会が行う観光動向・観光意識についての調査から宿泊施設のサービスに関する調査結果を引用することとした。</p> <p>C. もう一度行ってみたい温泉地ランキングについては、実績値は平成21年度と比べて2ランク上がった、平成22年度の目標値に対して5ランク上回った。その要因は、NHK大河ドラマ「龍馬伝」の放映により、平成22年度においては、霧島の知名度が上がったためと思われる。</p>

7 平成23年度基本事業の取組方針	8 平成24年度に向けた基本事業の課題・方向性
<ul style="list-style-type: none"> 観光客のおもてなしに対する満足度を把握するために、観光協会等と連携し観光客への意識調査を行っていく。 観光客に「癒し」を与えるのに不可欠となる「おもてなしの心」を育むために、観光従事者に対する研修会を市観光協会や市商工会が実施するので、側面的な支援を行う。 観光客に霧島市のすばらしさを知ってもらうために、観光案内等を行う観光ボランティアガイドの育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 観光客のおもてなしに対する満足度を把握するために、観光協会等と連携し観光客への意識調査を行っていく。 観光客に「癒し」を与えるのに不可欠となる「おもてなしの心」を育むために、観光従事者に対する研修会を観光協会が実施するので、側面的な支援を行う。 観光客に霧島市のすばらしさを知ってもらうために、観光案内等を行う観光ボランティアガイドの育成を図る。

基本事業No.	3-3-4	基本事業名	海外からの観光客の誘致	基本事業 主担当課	観光課
---------	-------	-------	-------------	--------------	-----

1 基本事業の目的、取組み方針					
①基本計画期間における取組み方針（総合計画書より）					
<ul style="list-style-type: none"> ・定期航路が開設されている中国・韓国に重点をおき、航空会社や海外旅行エージェントと連携し、外国人観光客のニーズの把握・分析、外国人を対象にしたモニターツアーの実施検討等を行い、積極的に外国人観光客の誘致活動を実施する。 ・旅行社やマスコミ関係者に本市の魅力を知ってもらうための取組みや観光地霧島のPRに努める。 ・外国語による観光案内板や観光パンフレットの作成などに取り組む。 					
②対象	上海・ソウルからの旅行者		③意図	霧島市を訪れる	

2 基本事業の指標等の推移						◎目標達成(105%以上) ○目標をほぼ達成(95%~105%未満) △目標を未達成(95%未満)					
①成果指標名		単位	②成果指標の測定方法	③数値区分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度 (目標年)	
A	上海・ソウルからの入国者数 (定期便のみ)	人	鹿児島県の統計調査による。	成り行き値	67,800	45,000	40,000	38,000	36,000	34,000	
				目標値	68,000	45,000	43,000	43,000	43,000	43,000	
				実績値	61,391	45,532	55,309	65,841			
				達成率	90%	101%	129%	153%			
				結果	△	○	◎	◎			
B				成り行き値							
				目標値							
				実績値							
				達成率							
C				成り行き値							
				目標値							
				実績値							
				達成率							
D				成り行き値							
				目標値							
				実績値							
				達成率							

3 基本計画期間における基本事業の目標設定の根拠
<p>中国・韓国定期便の入国者数については、平成18年度までは顕著な伸びをしていたが、（県観光統計より）平成20年秋以降、世界金融危機や不況に加え、燃料高騰、急激な円高及び新型インフルエンザの流行等の影響もあり、入国者が激減した。また、平成20年度に香港航路が4月に就航したが、上記等の理由により利用客が減少し同年度で休止となった。</p> <p>このような現状を勘案し、目標値については、平成21年に上海が37%の減、韓国が21%の減で、平均して約29%の減であることから30%の減とし、平成19年度実績の70%とした。</p>

4 平成22年度基本事業の取組方針	5 平成22年度基本事業の取組方針の達成状況
<ul style="list-style-type: none"> ・韓国からの観光客を増やし、韓国と同じく鹿児島空港からの直行便のある中国からの観光客を誘客するために、県と連携し積極的に海外エージェントへの情報発信を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国人観光客を対象にしたトレッキングツアーを実施した。 ・県観光連盟と連携し、韓国の旅行エージェントを対象とした招聘事業を実施した。

6 平成22年度基本事業の成果指標の達成状況
<p>A.中国・韓国からの入国者数(定期便のみ)については、実績値は平成21年度と比べて約1万人増加し、平成22年度の目標値に対して約2万2千人上回った。その要因は、中国の中間層のビザの開禁と中国・韓国のゆるやかな景気の回復により上海・ソウルからの観光客が増えてきたと思われる。</p>

7 平成23年度基本事業の取組方針	8 平成24年度に向けた基本事業の課題・方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・直行便のある中国、韓国からの観光客を誘致するために、県と連携し積極的に海外エージェントへの情報発信を行っていく。 ・増加が見込まれる外国からの観光客のニーズに対応するために、外国語表記による観光案内板や観光パンフレットの作成等を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・直行便のある中国、韓国からの観光客を誘致するために、県と連携し積極的に海外エージェントへの情報発信を行っていく。 ・増加が見込まれる外国からの観光客のニーズに対応するために、外国語表記による観光案内板や最新の情報を伝えるために、観光パンフレットの作成等を行っていく。